

No.2021

破裂度試験機

破裂強さは紙及び板紙を一定の速度で球型に試料を変形させ、破断させるのに要する圧力を試験法として規定されています。

本機は破裂強度を安全に迅速に試験するもので、圧力はモーター駆動によるプランジャーの進入により、ゴム隔膜を介して試料に与え、破裂したときの強さを圧力センサにより検知し、表示するものです。本機は 0.64mm 以下の紙及び板紙、フィルム等に適した C 型と板紙、段ボール等に適した A 型との 2 種類があります。

従来のミューレン型と違い、高精度、再現性、作業性等など、数々の特長をもち、しかも安全性を重視したデザインの破裂度試験機です。プリンタを内蔵したモデル、紙送り装置を取り付けたモデルも用意しております。

A 型(高圧型)

試料クランプ	上部 31.5mm 下部 31.5mm
加圧速度	170±15ml/min
減圧速度	340cc/min
圧力計	Max 5 MPa(デジタル表示)
安全装置	締付け部安全リング付
電源	単相 100/110V 50/60Hz 7 A
エア源	0.7MPa
参考規格	JIS P-8131-2009, TAPPI T807om-03, T810om-85, ISO 2759
外形寸法	370×560×470mm
重量	66kg

C 型(低圧型)

試料クランプ	上部 30.5mm 下部 33.1mm
締付圧	Max 1200kPa
加圧速度	95±5ml/min.
減圧速度	190cc/min.
圧力計	Max 2MPa(デジタル表示)
安全装置	締付け部安全リング付
電源	単相 100/110V 50/60Hz 7 A
エア源	0.5MPa
参考規格	JIS P-8112-2008, TAPPI T403om-02, ISO 2758
外形寸法	370×560×470mm
重量	64kg

オプション 紙送り装置 送り量 1～99cm(1cm 単位)

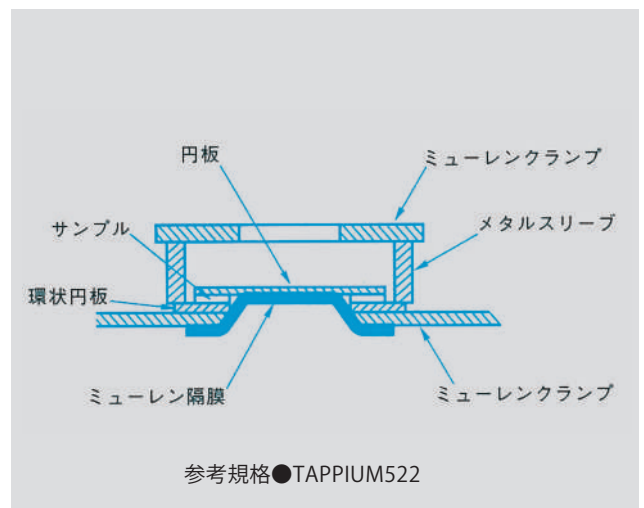
No.2028

層間はく離強さ試験器(破裂度試験機専用)

板紙の層間はく離強さを破裂度試験機を利用して測定するものです。その原理は、両面テープを貼り付けた板紙試験片をドーナツ状に切り抜き、図示の環状円板と孔なし金属板で挟むように貼り付け、破裂度試験機に組込み加圧します。加圧をするとゴム隔膜は孔なし円盤に向かって膨張します。はく離するまで加圧を続け、その時の最大圧力を読み取ります。



紙送り装置付き



参考規格●TAPPIUM522